

則武学区秋のハイキング



【則武学区】

■世帯数：4,306 世帯

■人 口：7,293 人

■面 積：0.511 km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- 学区民と青少年の交流の場として、年に 1 回開催。平成 23 年度は東山 1 万歩コース及び東山動植物園において、ハイキングを開催。参加者は約 100 人。その他、年 3 回別行事（安全講習会、防災マップ作り、ノンフォーマル教育を考える）を開催。
- 特に、安全講習会においては、救急法・危険予知トレーニング等を行い、災害事前予防に努めている。
- ハイキング等学区行事への参加を通じて学区の他の事業にも積極的な参加が見られるようになり、住民の会話も弾み和やかな雰囲気は自然に生まれている。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、子ども会役員会でチラシ配布

【アピールポイント】

区政協力委員全体で役割分担し、一丸となって行事に参加している。

2 きっかけ、背景

名古屋市の提唱する「安心・安全で快適なまちづくり」の一環として何ができるか学区で考え、青少年育成協議会を中心として手探りではじめた。学区内住民と区政協力委員とのつながりが希薄になりつつある中、いかに学区内住民との交流を深め、町内で会っても気軽に挨拶できるようにとの思いで、委員長を先頭に区政協力委員の協力を得て実施している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、計約 22 人

(2) 他団体との協力

企業の協力を得て参加者にお菓子を提供

(3) 運営協力

できるだけ学区内住民の協力を得るようにしている。

4 実施のスケジュール

H23 年
5月 参加者用パンフレットの打合せ



8月 参加者用パンフレット打合せ2回目



9月 1万歩コースを区政協力委員で
下見・調査
区政協力委員を通じチラシを配布
植物園担当者と打合せ



11月 ハイキング実施
13日 実施後、担当者で振り返り、評価

5 成果と課題

(1) 成果・効果

住民間の交流が深まった。区政協力委員が青少年行事に積極的に参加して住民との交流も深まった。

(2) 今後の課題・展望

別行事を含めて年4回開催するための活動資金の確保が課題。活動資金がもう少しあれば、充実したプログラムが展開できる。

(3) メッセージ・アドバイス

学区内住民と区政協力委員とのコミュニケーションに役立つ。

